

2024年6月17日

## 電通グループ、クリエイティブ R&D 組織「Dentsu Lab」のグローバル展開を開始 — ミッションは「Innovation to Human Experience」 —

電通グループ（ブランド：「dentsu」、本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博、以下、dentsu）は、dentsu の国内事業を統括する dentsu Japan のクリエイティブ R&D 組織 Dentsu Lab Tokyo を、今後 Dentsu Lab としてグローバルに展開していくことを発表しました。その第一歩として、ロンドン、アムステルダム、ワルシャワ、ムンバイ、ベンガルールに拠点を開設し、2025 年にはさらなる展開も計画しています。このグローバル展開に伴い、dentsu はスヴェン・ヒューバート（Sven Huberts）をグローバル・イノベーション&エクスペリエンス プレジデント 兼 Dentsu Lab プレジデントに任命しました。また、Dentsu Lab のチーフ・クリエイティブ・オフィサーには、Dentsu Lab Tokyo のリーダーである田中直基が就任し、二人のリードにより Dentsu Lab を率いていきます。

この世界的なイニシアチブは、dentsu のグローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサーである佐々木康晴が、前例にとられないクリエイティブ R&D 組織として 2014 年に設立した Dentsu Lab Tokyo を発展させたものです。Dentsu Lab Tokyo は、これまでもオープンイノベーションによる今までにない新たなエクスペリエンスの開発や社会の課題の解決に取り組んできました。具体的には、テクノロジーと新しいインターフェイスデザインを駆使し、障害を持つ人々のクリエイティブな可能性を引き出す「All Players Welcome」<sup>※</sup>、国際的なイベントにおけるユニークなセレモニー演出、高度なアルゴリズムとデータビジュアライゼーションによるスポーツ体験の向上させるなど、過去 10 年間にわたり多様なイノベティブなプロジェクトを担ってきました。

この度のグローバル展開において Dentsu Lab は、「Innovation to Human Experience」というミッションのもと、人間性とテクノロジーの融合を探究の中心に据え、人々の心に響き、ビジネスに好影響を及ぼし、より良い社会に貢献する表現や体験の開発を行っていきます。各マーケットの Dentsu Lab の専任リーダーは今後数ヶ月以内の任命を予定しています。それぞれのリーダーシップのもとイベント、スポーツ、ゲーム、インスタレーション、リテール、新製品、プロポジションデザイン、ニューリアリティ（AR、VR、MR）、データビジュアライゼーション、AI、モバイル、IoT、ラピッドプロトタイピングなど、社会の課題とテクノロジーを結びつけたクリエイティブな研究開発サービスを提供していきます。

グローバル・イノベーション&エクスペリエンス プレジデント 兼 Dentsu Lab プレジデント スヴェン・ヒューバートのコメント：

「私たちは今、人間の創造性と技術的な高度化の分岐点に立っており、かつてない魅力的な真のイノベーションの機会が目前にあります。私は田中とともに、ビジョナリーなクリエイター、パートナー、各ネットワークから編成するグローバルチームを率いていけることをこれ以上ないほど嬉しく思っています。世界で最もパワフルなテクノロジーとツールを活用し、真に人々の心に触れ、ビジネスに良い影響を与え、そして最も重要なことですが社会を前進させる体験を創造していきます。」

Dentsu Lab チーフ・クリエイティブ・オフィサー 田中直基のコメント

「Dentsu Lab Tokyo は、10 年前の 2014 年に発足して以来、テクノロジーとクリエイティビティの融合によって、社会的課題を解決し、心に響く表現や体験を生み出してきました。新たに組成される、あらゆるテクノロジーを駆使し、アイデアにあふれたイノベーターで構成された世界規模のチームとともに、世界中にある企業と社会の課題を解決し、より良い方向への前進に貢献していくことにワクワクしています。私たちは、常識やアルゴリズムの外側にある視点と遊び心を常に大切にしながら、新たな可能性を開いていきたいと思えます。」

(株)電通グループ グローバル・プレジデント - グローバル・プラクティス ジーン・リンのコメント

「Dentsu Lab の開設は、dentsu の 120 年にわたるイノベーションの伝統を引き継ぐものです。私たちは、最高のクリエイティブ・テクノロジストたちを結集し、その想像力と発明する力が社会やビジネスにとってどれほどパワフルな結果をもたらすかを Dentsu Lab Tokyo から学んできました。グローバルな舞台でこれを可能にすることは、dentsu、顧客企業、そして社会にとってエキサイティングな瞬間となります。」

※「ALL PLAYERS WELCOME」は、身体に障害を持つ人を含め、さまざまなバックグラウンドを持った人とともに、その視点やクリエイティビティの力を借りて、誰でも表現ができるためのツールや環境をつくることを目的として、2022 年 6 月に始動したプロジェクトです。

####

<スヴェン・ヒューバート (Sven Huberts) プロフィール>

2024 年、スヴェン・ヒューバートは EMEA エクスペリエンス担当プレジデントから、グローバル・イノベーション&エクスペリエンス プレジデント 兼 Dentsu Lab プレジデントに就任。ヒューバートはこの新たな役職において、Dentsu Lab のグローバル展開の陣頭指揮を執るだけでなく、dentsu における経験とイノベーション能力を結集して顧客企業の成長を実現するため、ネットワーク全体のミッションを拡大する責任を担う。2010 年に dentsu に入社して以来、ローカル、リージョナル、グローバルでさまざまなリーダーシップを発揮し、dentsu のビジネス成長、クリエイティブ・イノベーション、カルチャーの発展に貢献。主な受賞歴として、ローカル、アジア太平洋地域、グローバル・リーダー在任中での Isobar の Fast Company 「World's Most Innovative Companies (世界で最も革新的な企業)」への選出、アジア太平洋地域で 3 度の Campaign Regional Digital AoY 賞受賞、EMEA での Campaign Regional Innovation & Digital AoY 賞受賞など。

<田中直基 (たなか なおき) プロフィール>

デザイン、テクノロジー、ストーリーテリングを融合させたメディアニュートラルな表現で、さまざまな境界を超えたクリエイティブワークを展開。Dentsu Lab Tokyo のクリエイティブ・ディレクターとして、クライアントワークと自身の R&D の両面からクリエイティブの新領域を開拓し、ミュージックビデオ、デジタルデザイン、AI 表現、大規模なイベント演出まで、幅広いアウトプットを行っている。

主な仕事に、TOKYO2020 パラリンピック開会式「PARAde of ATHLETES」、AI 監視社会から身を守るカムフラージュ「UNLABELED」、世界初のアンドロイド番組司会者「マツコロイド」、ALS 共生者のクリエ

イティブな可能性を探るプロジェクト「All Players Welcome」、2025年大阪万博水上スペクタクルショーのクリエイティブディレクションなど。多様な業界の大手企業を担当し、D&AD、カンヌライオンズ、スパイクスアジア、アドフェストグランプリなど多数の受賞歴あり。

以上

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、島津

Email : [group-cc@dentsu-group.com](mailto:group-cc@dentsu-group.com)